

株式会社 **プロシップ**

(証券コード：3763)

2022年3月期
第2四半期
決算説明会

2021年11月25日

Pro-Ship Incorporated.

I 2022年3月期 第2四半期連結業績

II 2022年3月期 連結業績予想

III プロシップグループについて

IV 重点取組分野と成長戦略について

2022年3月期第2四半期決算ハイライト

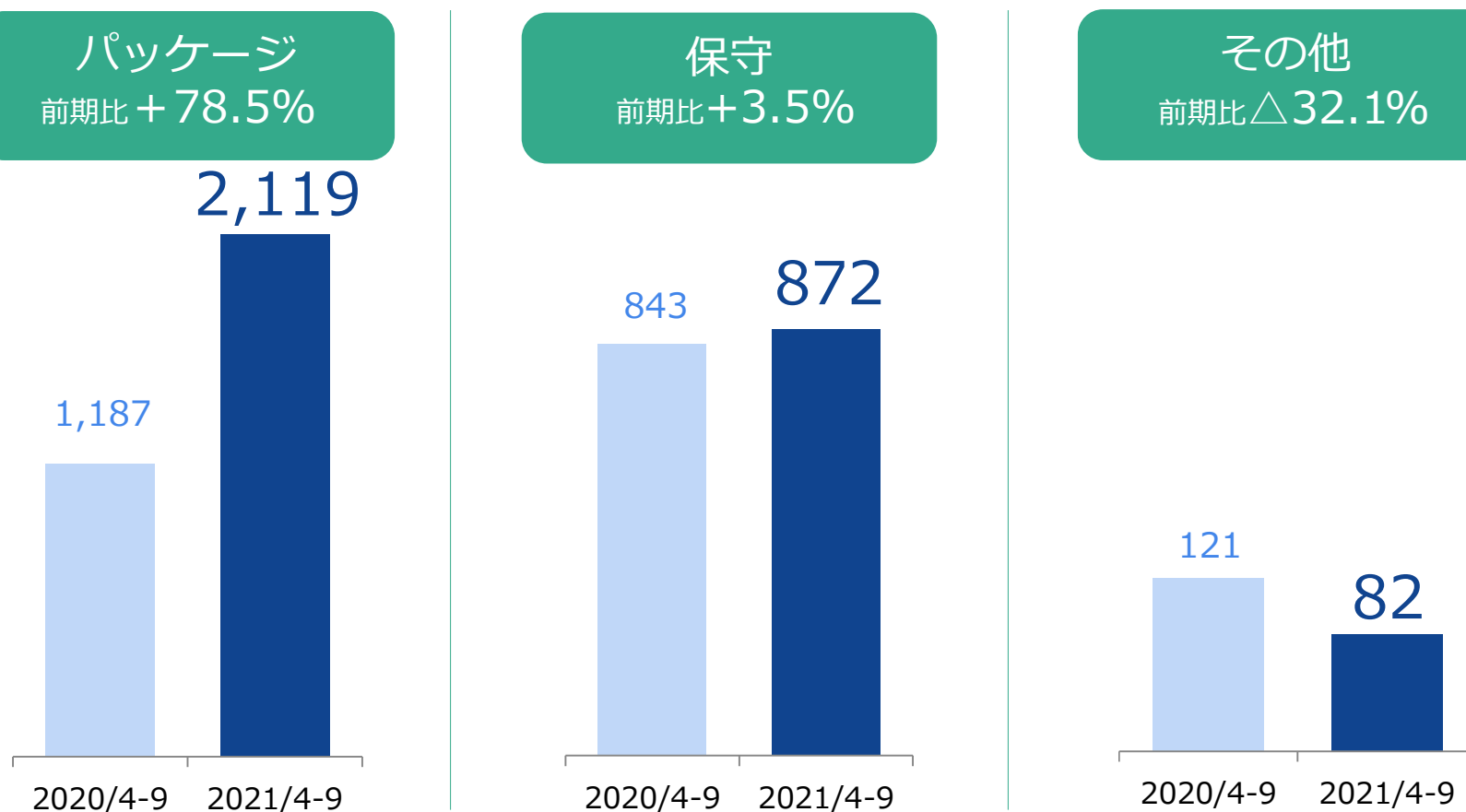
- 売上については、既存顧客のバージョンアップ需要への対応に加え、社会インフラ業界における案件推進などにより増収。
- 損益面も売上増加に伴い増益。なお、連結子会社の一部事業の譲渡による特別利益39百万円を計上。

	2021年3月期 第2四半期	2022年3月期 第2四半期	前期比 増減率
売上高	2,152百万円	3,074百万円	42.9%
営業利益	571百万円	1,020百万円	78.7%
経常利益	589百万円	1,046百万円	77.7%
経常利益率	27.4%	34.0%	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	401百万円	742百万円	85.2%

売上高（品目別）前期比較

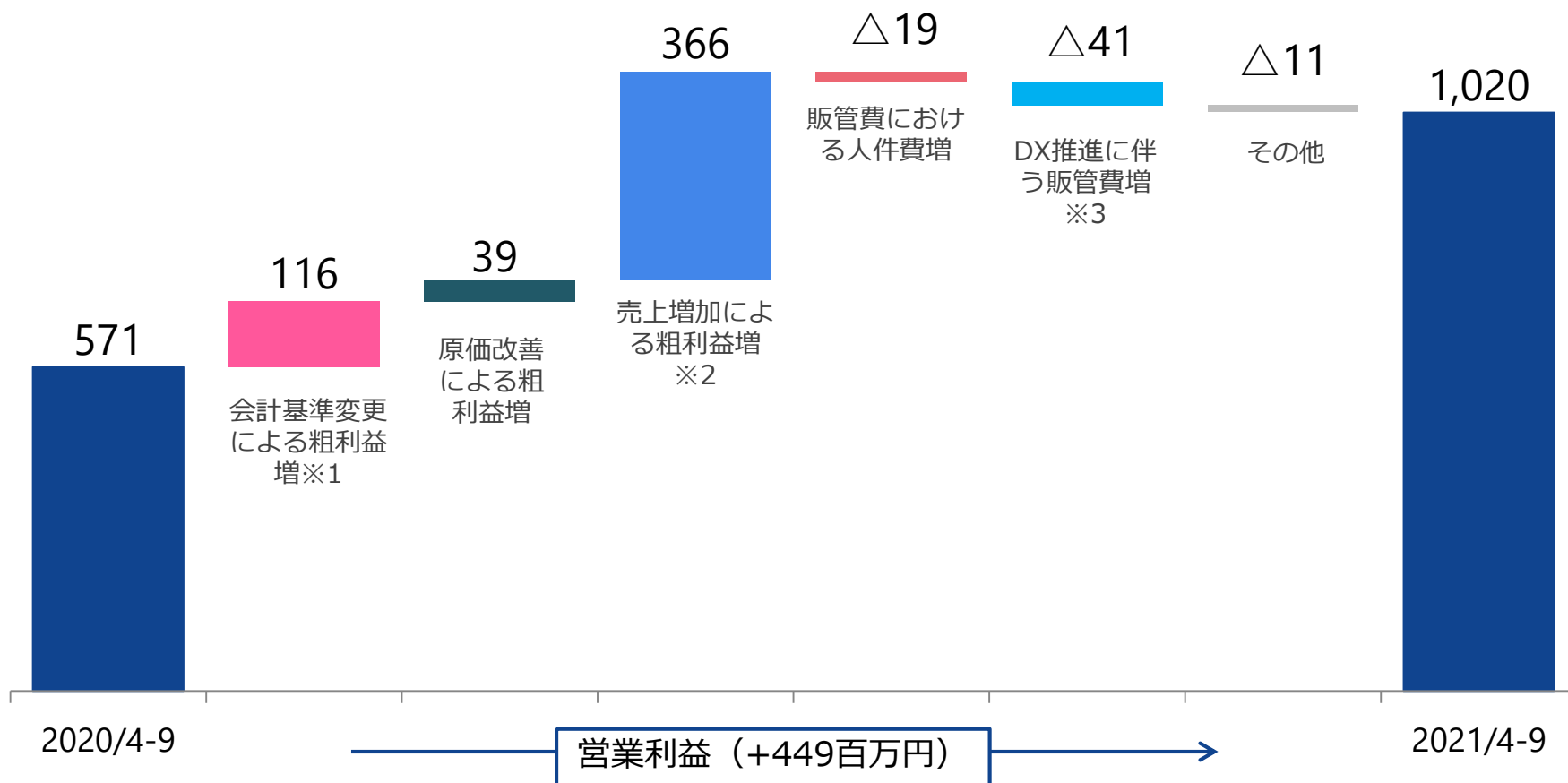
- 「パッケージ（固定資産管理システムの販売及び導入）」は、社会インフラ業界などにおける新規案件やバージョンアップを進めたことなどから増収。
- 「保守」は新規ユーザの増加などから増収。
- 「その他」は連結子会社の一部事業の譲渡により減益。

（単位：百万円）



連結営業利益の増減要因

(単位：百万円)



内訳

※1：売上171百万円、売上原価53百万円、販売費及び一般管理費1百万円

※2：売上751百万円、売上原価384百万円

※3：テレワーク推進に必要な各種システムの導入、既存社内システムのクラウド化対応費用

受注実績（品目別）前期比較

- 企業の働き方改革や業務効率化への取り組みによるシステム対応需要や、社会インフラ業界案件の推進により、受注・受注残高ともに増加。

対前期比 受注高20.7%増、受注残高3.8%増

2022年3月期第2四半期

品目	受注高	前期比 増減率	受注残高	前期比 増減率
パッケージ	2,036百万円	26.5%	2,497百万円	9.5%
保守	802百万円	22.1%	2,213百万円	△0.2%
受託開発	△0.6百万円	△100.9%	-	△100.0%
運用管理等	32百万円	△22.8%	34百万円	△18.9%
合計	2,869百万円	20.7%	4,746百万円	3.8%

I 2022年3月期 第2四半期連結業績

II 2022年3月期 連結業績予想

III プロシップグループについて

IV 重点取組分野と成長戦略について

2022年3月期 通期業績予想

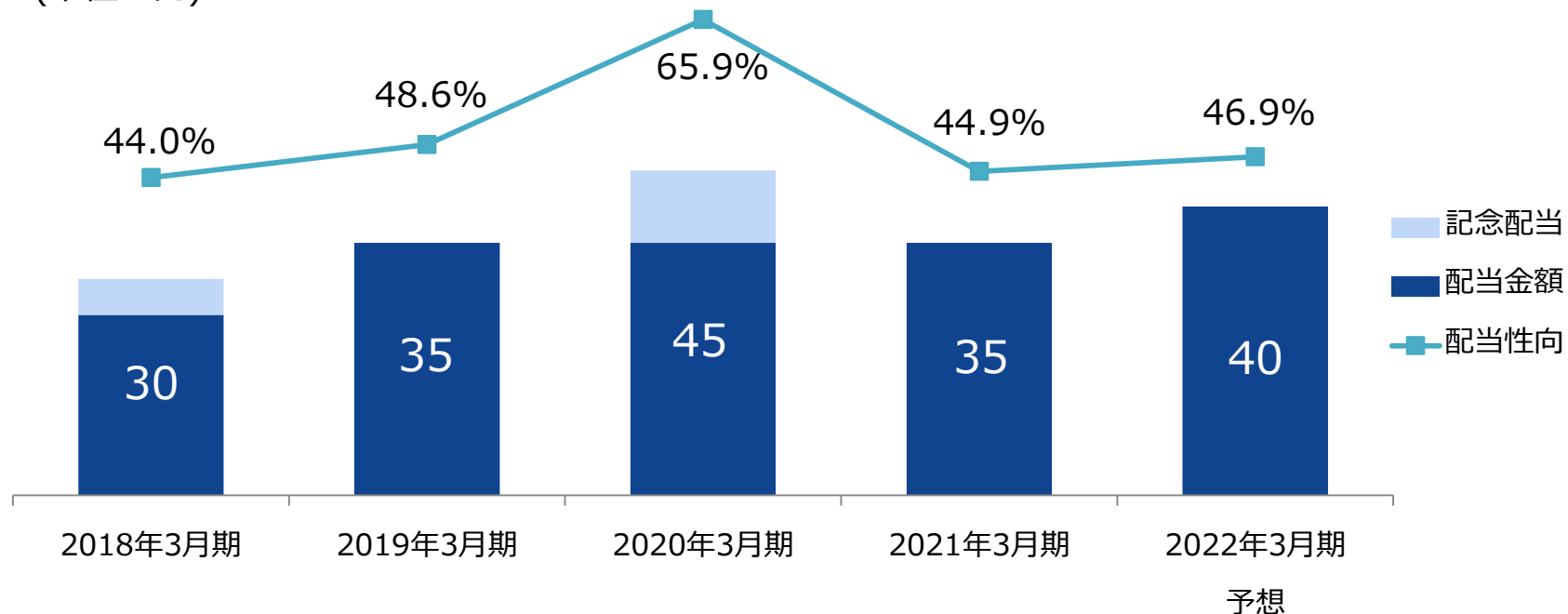
- 当初予想から変更なし。
- 企業の働き方改革や生産性向上、ガバナンス強化への取り組み等を背景としたシステム投資需要は堅調。既存顧客に対する新製品へのバージョンアップ対応、インフラ業界における案件推進などを背景に、通期売上は19.6%の増加を見込む。

	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	前期比 増減率
売上高	5,351百万円	6,400百万円	19.6%
営業利益	1,719百万円	1,913百万円	11.3%
経常利益	1,758百万円	1,950百万円	10.9%
経常利益率	32.9%	30.5%	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,192百万円	1,308百万円	9.7%

配当方針

- 当初予想から変更ありません。
- 株主還元については、自己資本の充実と収益力の向上を図るとともに、積極的に株主への利益還元に取り組みます。

(単位：円)



※2019年3月期に株式分割（1⇒2株）を行っております。

※上記株式分割の影響を加味した配当額を記載しております。

※ 2018年3月期、2020年3月期は記念配当を含んでおります。

I 2022年3月期 第2四半期連結業績

II 2022年3月期 連結業績予想

III プロシップグループについて

IV 重点取組分野と成長戦略について

会社概要

社名	株式会社プロシップ 東証1部：3763
設立	1969年4月
資本金	579百万円
代表取締役社長	山口 法弘
従業員数	216名
事業内容	パッケージシステムの開発、 販売、導入、 保守サービス
グループ企業	プロシップフロンティア プロシップ大連 プロシップ上海

(2021年9月30日現在)

沿革	
1969年4月	システムカンパニーを主要業務として、資本金150万円にて設立
1978年6月	会計システムパッケージ『ASPAC- I 』を開発・販売
1980年3月	総合固定資産管理システムパッケージ『FASPAC- I 』を開発・販売
1994年7月	総合情報システム『ProPlusシリーズ』を開発・販売
2005年3月	ジャスト証券取引所（現JASDAQ市場）に上場
2005年4月	中国大連市にプロシップ大連設立
2006年5月	株式会社プロシップフロンティア設立（日本バィナル社より営業譲渡）
2013年4月	中国上海市にプロシップ上海設立
2013年8月	SaaS型 現物管理ソリューション『ProPlus Pit』開発・販売
2016年10月	東京証券取引所 市場第二部に市場変更
2017年9月	東京証券取引所 市場第一部に指定
2017年10月	株式会社NSDと資本業務提携
2017年11月	2017年度ポーター賞を受賞
2019年9月	ProPlusシリーズ契約管理システム グローバルFRS16対応版を開発・販売
2019年9月	『ProPlus土地管理システム』を開発・販売
2019年12月	AI-OCRソリューション『ProPlus SMART』を開発・販売

- 固定資産、リース資産管理を中心に、お客様の資産管理、契約管理、資産活用に関するご要望にお応えできるソリューションをご用意しています。

■ 固定資産システム (Web版)

あらゆる業種・業態の企業にマッチする固定資産管理ノウハウを豊富に搭載

■ リース資産管理システム (Web版)

契約/物件情報管理、支払管理、開示資料作成などリース管理業務全般を効率化

■ 建設仮勘定サブシステム (Web版)

建仮計上から精算までの煩雑な業務を効率化し、きめ細かな建仮管理を実現

■ 棚卸サブシステム (Web版)

棚卸計画から実施まで一貫した管理が可能。固定資産システムとのシームレスな連携を実現

■ 賃貸借契約管理システム (Web版)

借り手側および転貸時の貸し手側の賃貸借契約/建設協力金/物件情報の一元管理により、業務効率化を実現

■ 土地管理サブシステム (Web版)

固定資産とは別台帳(紙、Excel、Accessなど)で管理されることが多い土地(事業用、販売用)の情報を、ProPlusで一元管理

■ 工事精算システム (Web版) *Smart*

AI-OCRの技術を活用し、大量の紙文書や電子文書をProPlusのインプット情報に変換、会計までの一連の業務効率化を実現

■ 現物管理システム (SaaS) **ProPlus**

スマートデバイスによるバーコード読み取り、画像による突合により棚卸作業を効率化。画像データの撮影・台帳転記機能、柔軟なレポート機能も搭載

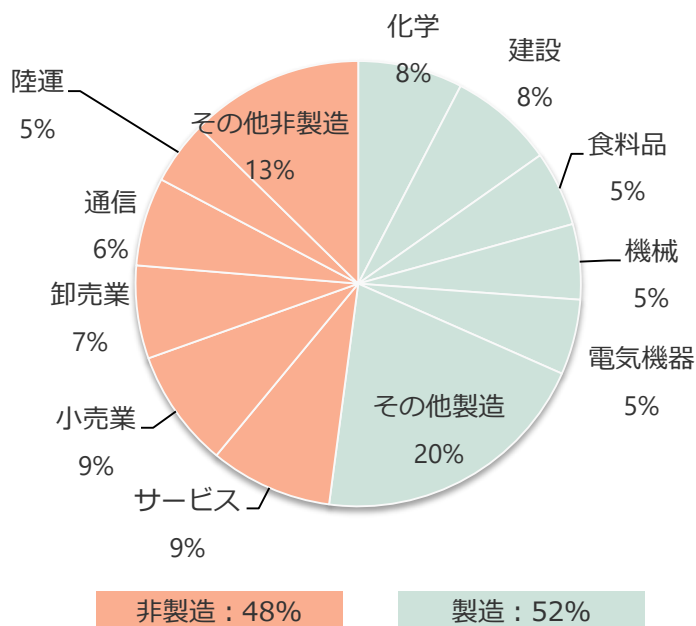
- ProPlusは上場企業を中心に、あらゆる業種、業態、規模の企業に幅広く導入されています。

ProPlusシリーズ 5,052社導入

(2021年10月末日現在)

ProPlusの顧客業種

(2021年10月末日現在)



- ✓ 証券取引所の定める新業種区分 (33業種) 全ての企業に導入を頂いております。

業種別売上高ランキングにおける ProPlus導入社数

(2021年10月末日現在)

シェア
50%

業種	ProPlus導入社数
建設	5社/10社
食料品	8社/10社
繊維製品	6社/10社
化学	4社/10社
医薬品	3社/10社
石油・石炭	3社/5社
ゴム製品	4社/10社
ガラス・土石製品	3社/10社
鉄鋼	4社/10社
非鉄金属	6社/10社
金属製品	3社/10社
機械	3社/10社
電気機器	5社/10社
輸送用機器	6社/10社
精密機器	4社/10社
小売業	6社/10社
銀行	3社/5社
証券・商品先物	2社/5社
保険	3社/5社
不動産	7社/10社
海運	3社/5社
倉庫・運輸	8社/10社
通信	6社/10社
電気・ガス	3社/10社

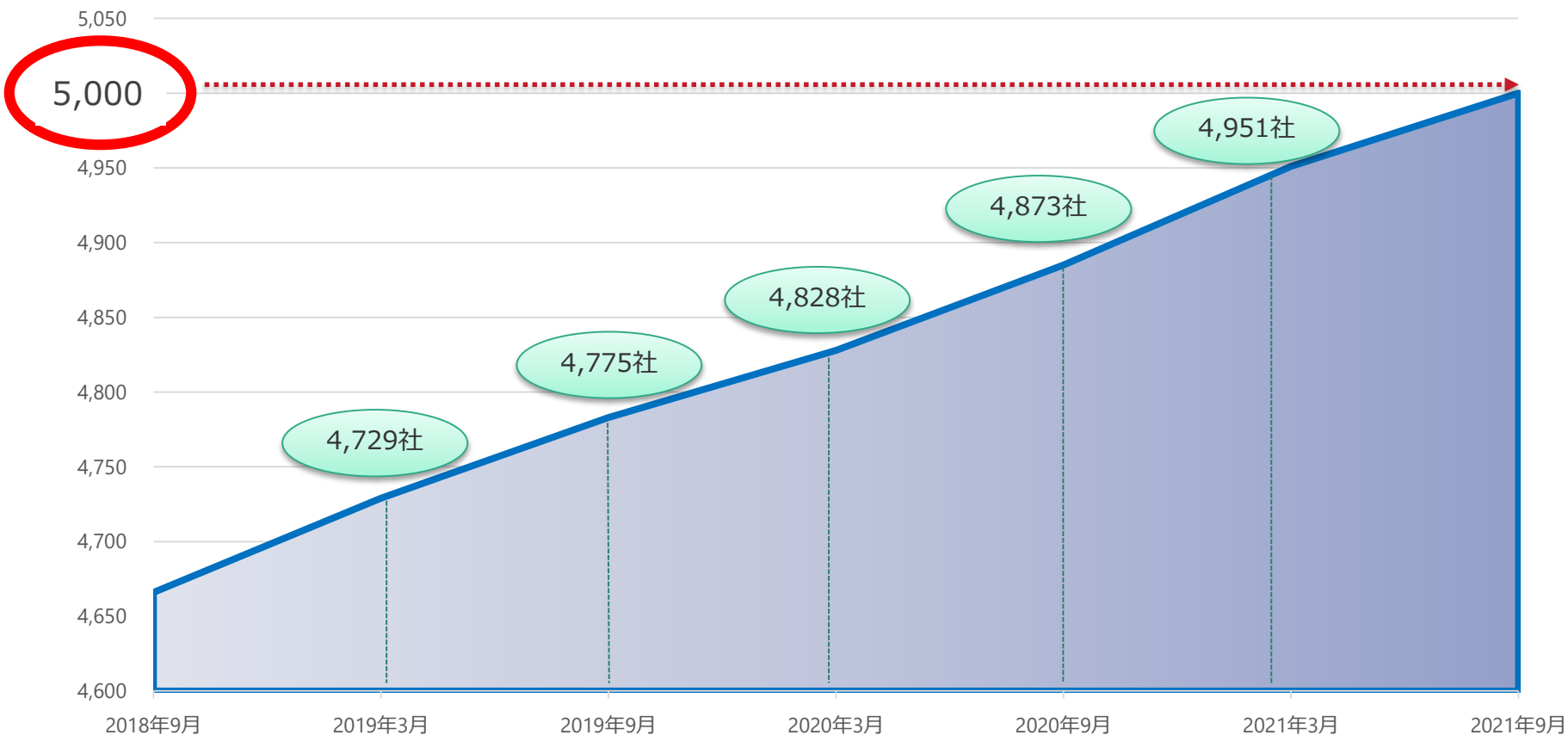
各業界のリーディング企業に導入



- ProPlusの導入実績は2021年9月で延べ**5,000社**を超えました。

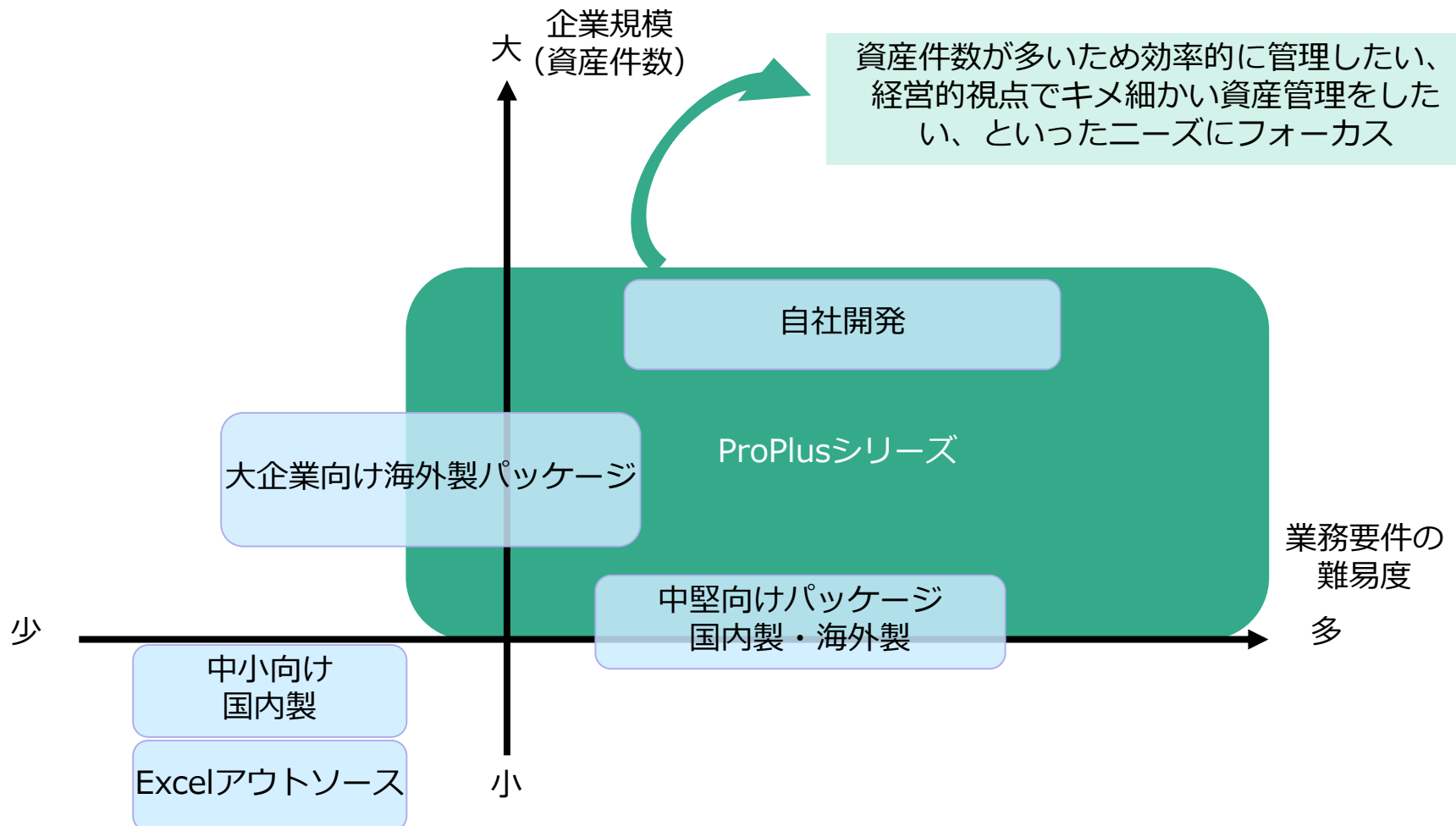
導入社数の推移

5,025社
(2021年10月末)



ターゲット企業と競合

- メインターゲットは、年商500億円以上の上場企業。
- 管理対象の資産件数が増加してくると対応ニーズの高度化が進む。

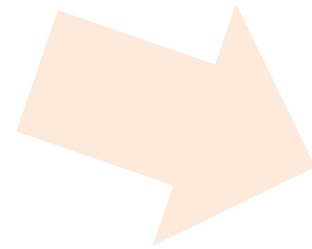




一般的な製品

Best of Breed

⇒各分野の最良の製品の組合せ



特徴的なポジション

制度改正が多く、システム対応を求められる頻度の高い固定資産管理の分野を、ERPから切出して、専門システムを組み合わせることで、システムの品質確保と高い機能網羅性を実現します。

I 2022年3月期 第2四半期連結業績

II 2022年3月期 連結業績予想

III プロシップグループについて

IV 重点取組分野と成長戦略について

使い続けていただく
価値づくり

クラウド・SaaS

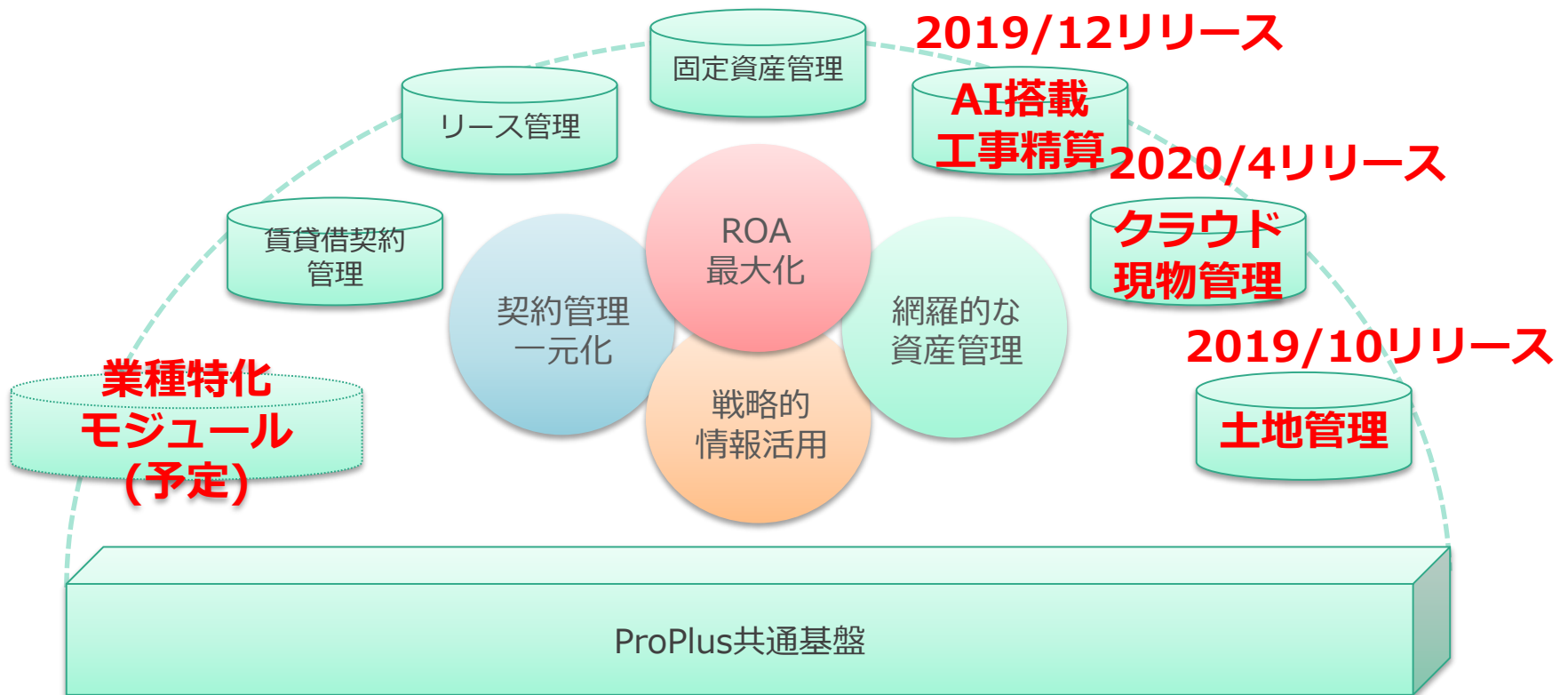
社会インフラ向け
ソリューション

デジタルワークスペース

「使い続ける価値」を支える 付加価値のある製品・サービス

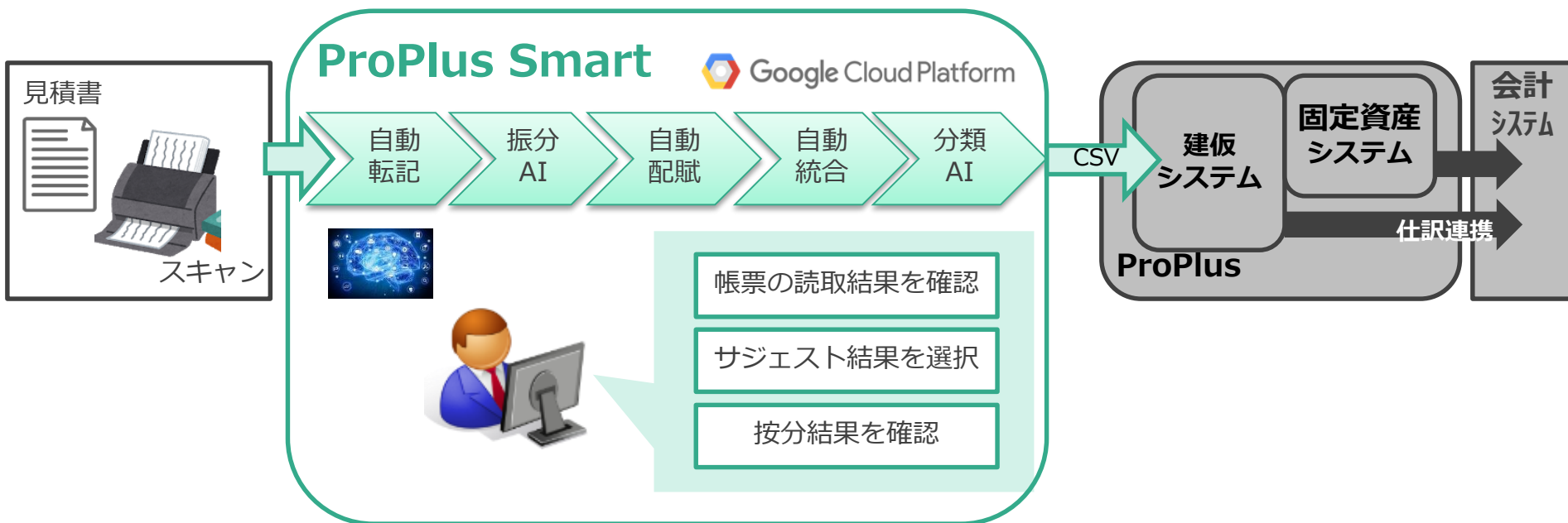
ProPlus 総合固定資産管理ソリューション Ver.6

顧客企業の成長を支援する、資産管理の統合基盤



ProPlus Smart 工事精算ソリューション

- 大量の紙文書や電子文書をProPlusのインプット情報に変換し、会計システムまでの一連の工事整理業務の効率化を実現します。
- AI-OCRの技術を活用し、見積書や請求書の読み取り、データ変換を行います。



高まるグローバル資産管理ニーズへの対応

- IFRS16の強制適用を契機に、在外子会社を含めたグローバルでのリース管理ニーズが拡大。また、近い将来、日本国内においても、新リース会計基準への対応が必要となる見通し。ProPlusは、リースの複数帳簿管理機能を持つグローバルで利用可能な唯一の国産パッケージです。

■ 導入実績

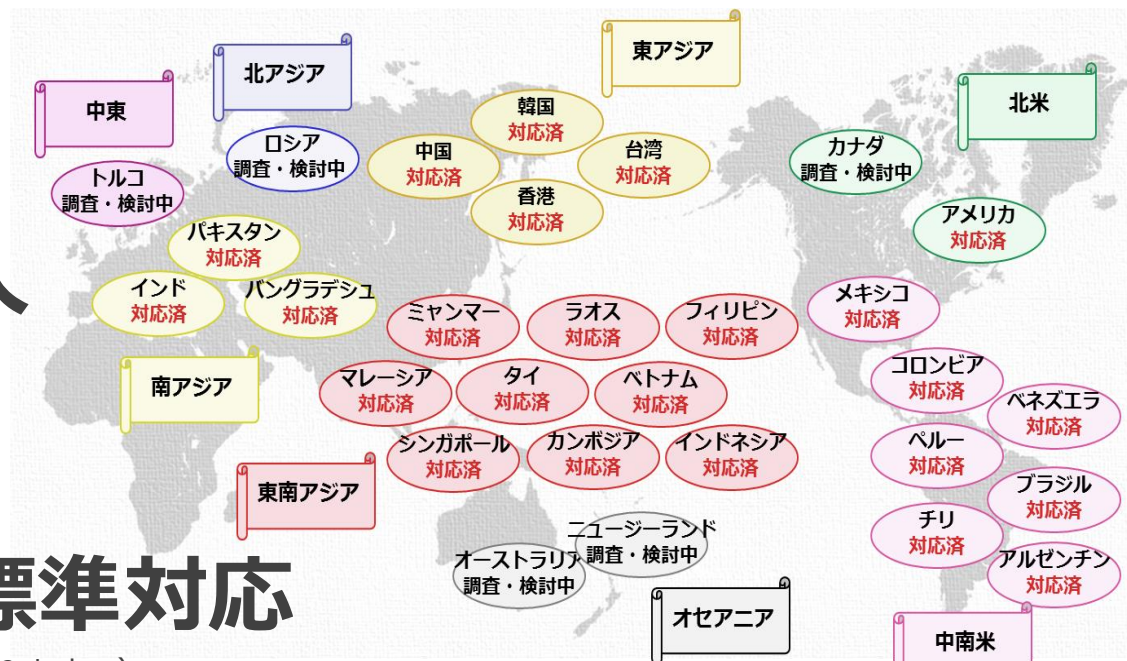
20の国と地域
175法人

※2021年10月時点

■ 製品対応

24か国の税務標準対応

(ProPlus Version5を含む対応実績になります。)

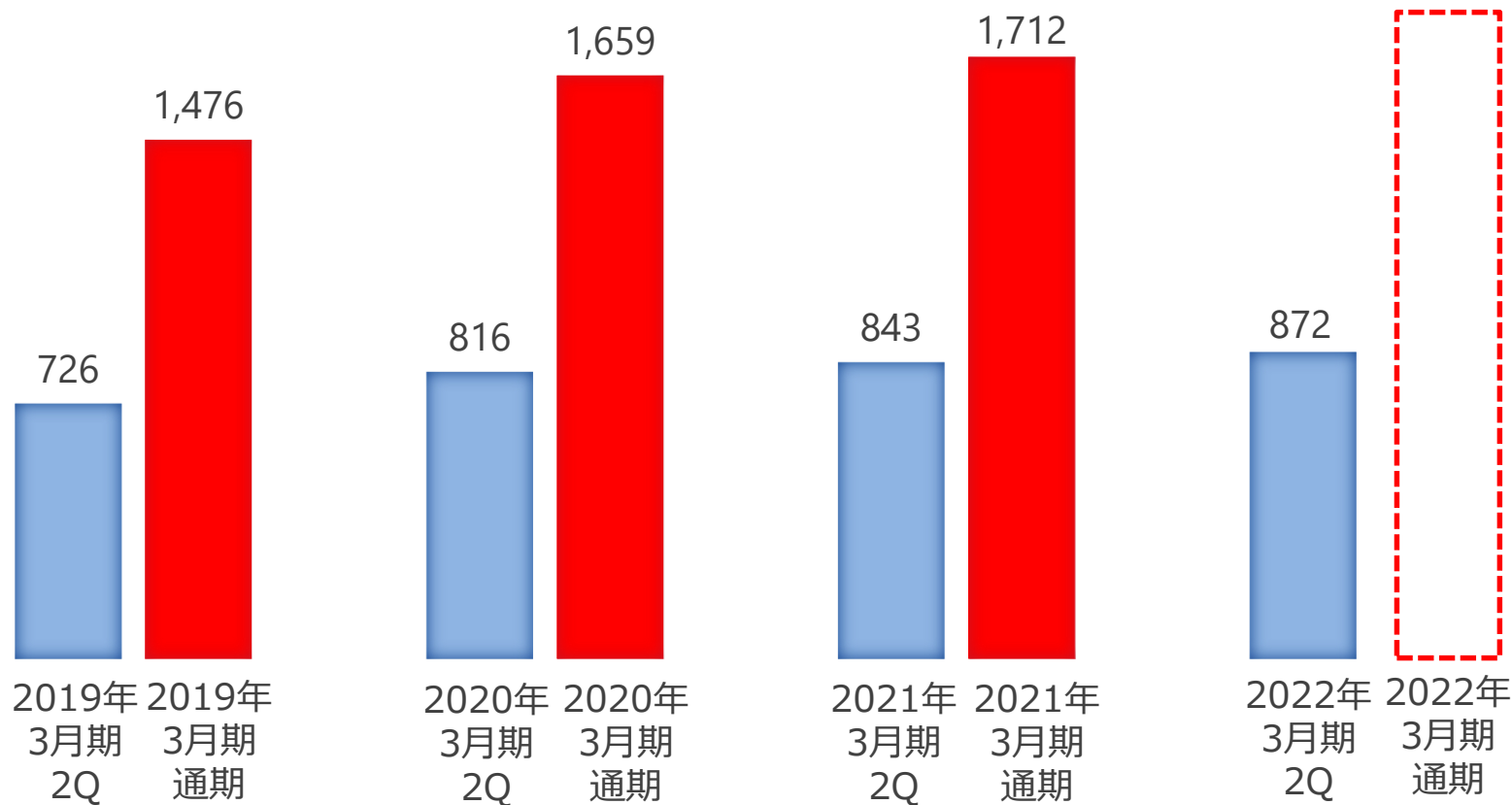


▲ProPlus製品対応状況

「使い続ける価値」を支える 付加価値のある製品・サービス

使い続ける価値の提供により、顧客数・保守売上は毎年増加を継続。

(単位：百万円)



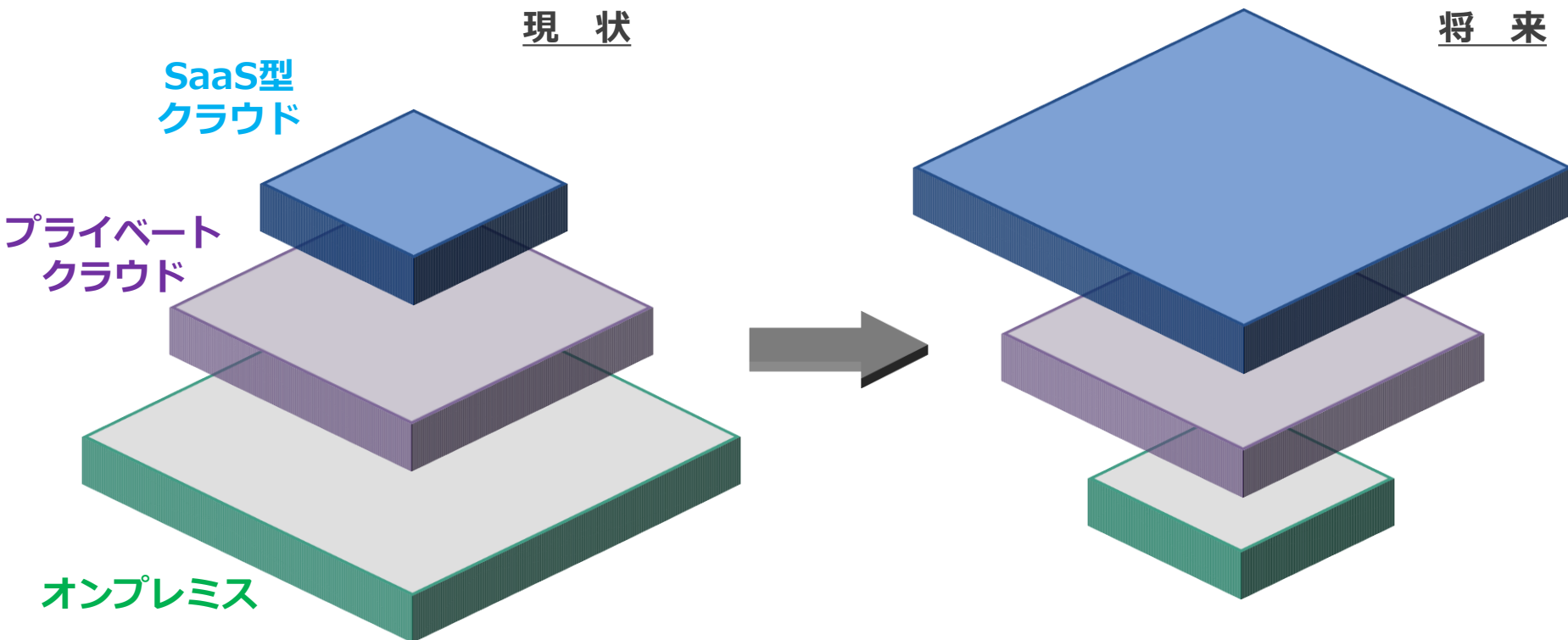
社会インフラ向けソリューション

- 資産件数が多く、業界特有の要件がある社会インフラ産業向けにスタンダードとなるソリューションを提供。



クラウド・SaaS

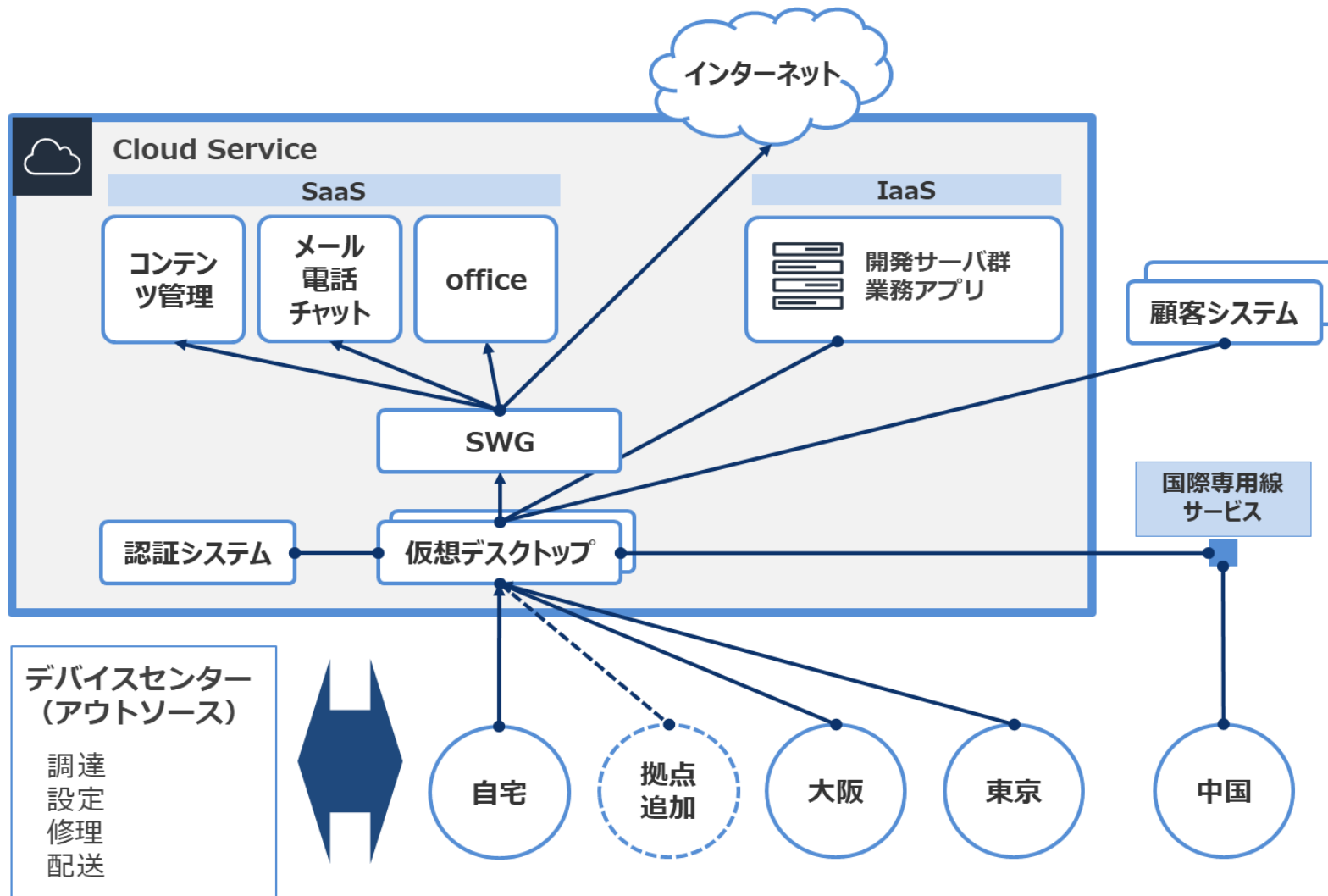
- システム利用用途の多様化、顧客のクラウドニーズの加速に対応したIaaS/SaaS型ソリューションラインナップの更なる拡充を進めていく。



- | | |
|--------------|--|
| クラウド型ソリューション | <ul style="list-style-type: none"> • ProPlusApps • ProPlus for C-x • ProPlus Pit • ProPlus Smart |
|--------------|--|

デジタルワークプレイス（社内DXの推進）

- 働く環境をデジタル化し、どこからでも同じ環境で作業や情報共有を行えるデジタルワークプレイスへと進化を遂げ、成長戦略を支えるプラットフォームを実現します。



本日はありがとうございました

お問い合わせ先

株式会社プロシップ 管理本部

TEL : 03-5805-6121

Mail : kanri@proship.co.jp

HP : <http://www.proship.co.jp>

本資料に掲載されている情報のうち、今後の業績予想・見通しなどの将来に関する情報は、その時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであります。従いまして、実際の業績等は、経営環境の変化などにより、計画数値と異なる可能性があります。また、本資料は情報の提供のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。